

日本外交文書 昭和期I 第一部第一卷 日付索引

昭和期I第一部第二卷 日付索引

昭和三年（一九二八）一月

番事項
番文書

番書電
号信信

卷之三

1

2

1

帽兒山領事館分館設置問題および不法課税問題について
帽兒山領事館分館設置問題および不法課税問題について
題について
尚清奉天省長との会見について吉田總領事と劉
張作霖の対白態度等について
南北代表開税會議計画に関する堀參事官とエ
ドワーズの会談について
南北代表開税會議計画について
差等税率案を基礎とした協定税率交渉申入れ
を急いた方が得策である旨意見具申
吉会鉄道請負契約締結に関し楊宇霆に対する
説得について
南京事件交渉再開に関するマクマレー米国公
使との会談について
不約廃棄問題に関する对中国共同提議に米國
政府の通商條約改訂期限三か月延長方申
入れについて
北京政府の通商條約改訂期限三か月延長方申
題に関する天羽英二と楊宇霆との会見について
て
につき暫く会談し合せ方訓令

5 597 597 596 533 54 596 706 4 3 i

程潜处罚に関する我が政府の方針について
方訓令
国民政府の南京事件関連文書発表延期を主
南京事件解決条件中黄外交部長の陳謝を主
側拒否について
英國との南京事件解决交渉進捗に鑑み日本
至急回答方を中國側要請について
南京事件交渉経過に関する英國代理公使の
明について
関税問題に関するエドワーズ總稅務司代
南北両政府宛提案手交について
英より田中外務大臣宛第三三二六号
の南北両政府宛提案について
南京事件英中交渉の状況に関する英國總領
の談話について
日本側南京事件解決案に対する黄外交部長
対応について
南京事件解决に関する中国側提案への対応
示について
南京事件解决文書中、不平等条約改訂問題
に関する条件削除方について
南京事件に関する国民政府の处罚・禁令等
の経緯につき袁良の説明について
エドワーズ覚書に関する五国外交団会議に
いて
林祖涵等逮捕令および外国居留民保護令の
布について
南京事件解决文書中不平等条約条項削除問

561 560 725 559 558 557 556 555 722 721 554 553 551 551 550

922 550 550 549 548 547 546 545 921 544 544 543 542 541 540

昭和三年（一九二八）六月

ある態度表明し、英國に依る濟南事件に關する日本本邦の立場を示す。井中將の濟南行について、北京に治安維持会成立の情報について、張作霖外交團に北京撤退を言明について、張作霖撤退後、北京に於ける治安維持策について、張作霖北京撤退の日時について、張作霖側より六月二日深更北京退去の旨について、張作霖の離京後北京の治安維持に関するフジツの応答振りについて、張作霖は大勢不利なるを察し北京引揚ば心したる旨の情報について、張作霖撤退後の天津地方治安維持に關する国民政府代表の内話について、東三省政權に対する今後の日本の政策に意見具申、濟南の治安狀況に関する英・米・独各國の見解について、張作霖北京退去の狀況について。

129 391 128 127 126 125 125 124 123 123 122 390 389

四	四	二	九	四	二	二	九	二	二	四	五
275	274	106	688	273	105	104	687	103	102	272	360
昭和 3年 5月 (31) 日	昭和 3年 5月 31日	昭和 3年 5月 30日	昭和 3年 5月 30日	昭和 3年 5月 30日	昭和 3年 5月 30日	昭和 3年 5月 30日	昭和 3年 5月 29日	昭和 3年 5月 29日	昭和 3年 5月 (29) 日	昭和 3年 5月 28日	昭和 3年 5月 28日

付 記	蔡交渉員殺害事件の説明振り	外務省公表
機密三二二	在天津加藤總領事より	三六三
田中外務大臣宛	在天津矢田總領事より	一二一
田中外務大臣宛	在米國松平大使宛 (電報)	一二二
田中外務大臣宛	別電 (五月二十九日付在上海矢田總領事より) 同覚書に對する国民政府の回復	一二三
在中國芳沢公使より	在米國松平大使宛 (電報)	一〇五
在中國芳沢公使より	付 記 満州治安維持覚書に對する米國松平大使宛 (電報)	七六〇
在中國芳沢公使より	在廣東森田總領事より (電報)	七六一
在中國芳沢公使より	在廣東森田總領事より (電報)	七六二
在中國芳沢公使より	在奉天林總領事より (電報)	七六三
在中國芳沢公使より	在長沙糟谷領事より (電報)	四三
在中國芳沢公使より	田中外務大臣宛 (電報)	二五一
在中國芳沢公使より	田中外務大臣宛 (電報)	二五二
在中國芳沢公使より	田中外務大臣宛 (電報)	七七一
在中國芳沢公使より	田中外務大臣宛 (電報)	七七二

表	濟南事件に關し國際連盟へ提出の説明書(公)	389	384
姚震の張作霖出閑後の北京政局に關する觀測	満州治安維持覚書に対する国民政府の回答提出および口頭による極秘申出事項について	115	311
領事より田中外務大臣宛第三六四号	滿州治安維持覚書に關し満州に保護領設定などの意向は全くなき旨米国大使に説明について	117	116
英の態度	滿州治安維持覚書に關し満州に保護領設定などの意向は全くなき旨米国大使に説明について	117	116
広州特別市党部主催の第三次代表大會において對日經濟絶交弁法を決議について	850	118	118
奉天軍が出閑する時は追撃せず京津間の治安は閻錫山が担任する旨の姚震の談話について	119	119	119
満州治安維持覚書に関する方針に変更なき旨訓令	121	121	121
張作霖の帰奉問題に關する吳俊陞の談話について	312	312	312
長沙における排日貨の状況について	851	851	851
満州治安維持覚書に対する国民政府の回答進達について	121	121	121
奉天軍の保定退却など北方戰況に關する情報について	312	312	312
北軍は統々退却しつつある旨の大元帥府よりの消息について	313	313	313

外務省公表

表(公) 濟南事件に関し国際連盟へ提出の説明書

二	四	五	五	五	四	五	二	·	五	四	二	五	五	五	五	四
125	280	376	375	374	279	373	124	372	278	123	371	370	369	27	27	27

三二五	在中華外務大臣總領事（電報）
三一九	在濟南西田總領事代理より 田中外務大臣宛（電報）
三一七	在濟南西田總領事代理より 田中外務大臣宛（電報）
三二三	在濟南西田總領事代理より 田中外務大臣宛（電報）
二八〇	在奉天林總領事より 田中外務大臣宛（電報）
一四六	在天津加藤總領事より 田中外務大臣宛（電報）
一七九	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛（電報）
二九〇	閣議
三二八	在濟南西田總領事代理より 田中外務大臣宛（電報）
八三一	在中國芳大尻公使より 田中外務大臣宛（電報）
三三一	在濟南西田總領事代理より 田中外務大臣宛（電報）
八三二	在濟南西田總領事代理より 田中外務大臣宛（電報）
一八六	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛（電報）
在奉天林總領事より 田中外務大臣宛（電報）	

張宗昌たゞ北方料餉の動靜に関する情報について	401
济南事件に關し要求すべき条項に關する藤田	401
在青島總領事の意見具申	401
济南事件解決交渉早期実施必要との若杉書記	403
官意見具申	403
松井中將の济南事件解決交渉の見込みおよび	405
我が方の立会い方に関する政府の意向照会に	405
ついて	405
張作霖搭乗列車爆破後本邦人に対する中国人の	135
感情悪化について	135
京奉、津浦両線方面における奉天軍、直魯軍	315
部隊の退却情況等について	315
蔣介石は松井中將と會見のため張群を党家莊	405
に派遣について	405
滿州治安維持のため関東軍司令官に与える任	135
務等に関する閣議について	135
七日開催予定の松井・張群会談同行について	406
北京方面的政情について	316
中国の現状認識に関するプライス米国領事の	406
談話について	406
米・英領事、日本人新聞記者等の時局觀に	407
する若杉書記官より小村情報部長への報告	407
济南事件解決交渉に対する本省の見込み照会	409
について	409
京津区域における馮、閻両軍の行動調整等に	316
関する李烈鈞の談話について	316
济南事件解決交渉に対する本省の見込み照会	316
奉天城内在留邦人の大部分付屬地へ引揚につ	316
いて	316

一〇	四	二	二	二	二	五	二	五	五	五	五	五	二
813	276	122	121	120	119	368	118	367	366	365	364	117	

一二四	在天津加藤總領事より 田中外務大臣宛（電報）
二参七八	谷第三師団參謀長より 南參謀次長宛（電報）
付記	六月二日付第三五五 「山東善後方案」
三〇八	在濟南西田綏領事代理より 田中外務大臣宛（電報）
松井電二	在濟南松井中將より 南參謀次長宛（電報）
済謀六八	在濟南福田第六師団長より 南參謀次長宛（電報）
二六五	在奉天林總領事より 田中外務大臣宛（電報）
済謀七〇	在濟南福田第六師団長より 南參謀次長宛（電報）
二七〇	在奉天林總領事より 田中外務大臣宛（電報）
二七一	在奉天林總領事より 田中外務大臣宛（電報）
八一二	在奉天林總領事宛（電報） 田中外務大臣より 田中外務大臣宛（電報）
一三七	在天津加藤總領事より 田中外務大臣宛（電報）

張作霖搭乗の列車天津通過等について	磯谷中佐意見書	13
濟南事件交渉に際し軍の威信貫徹の必要について		
濟南事件解決交渉の見込みなどにつき意見具申		
濟南事件解決交渉は軍事外交一括して行うべき旨の藤田在青島總領事よりの意見具申		
東鐵道沿線の駐兵保障を得るまで濟南および山東鉄道沿線の駐兵方意見具申		
在留邦人の安住保障を得るまで在留邦人保護のため軍駐留継続の必要性について		
張作霖搭乗列車爆破事件調査に關し現場付近警備担当の守備隊長東宮大尉談による状況について		
国民政府の態度に鑑みまた在留邦人保護のため軍駐留継続の必要性について		
張作霖搭乗列車爆破事件に關し中國側と立会い現場調査の結果について		
奉天城内在留邦人の引揚げ状況について		
張作霖搭乗列車爆破事件に關し中國側との立会い車輛審査の結果について		
張作霖の搭乗列車爆破事件に伴う時局に関する心得事項訓令		
治安維持会の北京警備状況について		
張作霖爆死事件と宣統帝復辟との関連に関する新聞報道について		
976 314 134 133 132 400 131 399 398 394 393 130 13		

張作霖が北京引揚げに察して発した通電内容
在天津加藤総領事より
山中外務大臣宛(雷報)
各第三師団參謀長より
參謀次長宛(電報)
付記〔六月二日付第三師団司令部付磯谷中佐意見書
「山東善後方案」〕
濟南事件交渉にて
張作霖搭乗の列

孫傳芳の浮離去の探査について

25

奉天軍の閑外撤退ならびに共産党取締りに関する張学良の真意確認について
閑衛戌総司令の施政振りなどに関する中国側内部の批評について
張作霖搭乗列車爆破は車中に装置せる火薬によるとの情報入手について
奉天軍の閑外撤退ならびに共産党取締りに関するの談話について
旨意見具申
王外交部長など济南事件解決に關し日本軍の撤兵先行を主張について
楊宇霆派および王樹幹派等の対日態度と青天白日旗掲揚問題について
河北省政府成立について
国民革命軍による閑外追撃阻止に關する建川武官との会談について
務部長より斎藤閑東軍參謀長宛電報案
井七夫少将へ伝えたる奉天軍の撤退実現について
南北の離脱を計ること緊要なりとの意見について
察哈爾区国民党の旗挙式と民衆の市内示威行進についての張家口領事館報告
国民政府の不平等条約廢棄新条約締結宣言
国民政府の新条約締結までの臨時弁法
奉天省財政整理および商租權問題に關する張學良の談話報告について
閑内奉天軍引揚計畫および共産党取締りに關する張学良との会談について
蔣、馮、閻、李四巨頭の西山に於ける軍事會議開会について
国民政府の條約廢棄通告の前に我が方より交渉継続の提議をすることが得策である旨意見具申
熙参謀長の国民政府との妥協問題等に關する談話について
張学良に対する奉天軍の北戴河以北撤退要請に關し請訓
济南事件解決要求条件について
り在中国芳沢公使宛第三三八号

上海における排日貨運動の影響について
対中國一般および對滿蒙方針について
東三省連合保安会の組織大綱に関する文武關係者の協議について
濟南事件解決要求案中の山東鐵道協定問題について
王外交部長に面会の上、濟南事件解決交渉のため代表を濟南に派遣すべき旨申し入れ方に
ついて
日中商事条約改訂交渉の期限延長はせず新条約締結では臨時弁法を施行する旨の国民政府側の意向について
蔣介石側代表より東三省政治分会設置等申入
張学良の命により陶尚銘等來館し東三省省政府刷新方に關し日本側の援助要請について
條約廢棄実施回避方国民政府側へ警告について
蔣介石側代表より東三省政治分会設置等申入
張学良の命により陶尚銘等來館し東三省省政府刷新方に關し日本側の援助要請について
條約既得権履行に関する張学良の態度を確かめたうえ易職後も支持すべき旨意見具申
青天白日旗掲揚の形式的問題は張学良の裁量に任す方得策なる旨意見具申
鄭謙の談話に対する張学良の意向について
國民政府の条件に対する張学良の意向について
張學良の閨内奉天軍撤退に関する談話について
南北妥協および對張學良態度に関する楊宇霆の土肥原への談話について
張學良の南北統一後ににおける東三省委員制実施に關する河野への談話について
廣東經濟絕交委員会の日貨排斥実行方法決議について
北伐軍入城後の北京市況について
南方に対する迎合的態度を執らず保境安民を中心として中立を守るよう張學良に警告方訓令
王正廷外交部長との會見に関する矢田在上海総領事電報について
山東派遣軍漸次減兵の方針を在邦各國大使に通告について
張作霖遭難後の楊宇霆の動向について
王外交部長と濟南事件解決交渉開始について
學良に対する説得について

付記
八月二十二日付
「濟南事件ニ関スル件」

昭和3年9月11日	五	五	五	六〇九
昭和3年9月12日	五	五	五	六一〇
昭和3年9月13日	一〇	801	423	420
昭和3年9月14日	一〇	802	424	421
昭和3年9月15日	一〇	803	425	422
昭和3年9月16日	一〇	804	426	423
昭和3年9月17日	一〇	805	427	424
昭和3年9月18日	一〇	806	428	425
昭和3年9月19日	一〇	807	429	426
昭和3年9月20日	一〇	808	430	427
昭和3年9月21日	一〇	809	431	428
昭和3年9月22日	一〇	810	432	429
昭和3年9月23日	一〇	811	433	430
昭和3年9月24日	一〇	812	434	431
昭和3年9月25日	一〇	813	435	432
昭和3年9月26日	一〇	814	436	433
昭和3年9月27日	一〇	815	437	434
昭和3年9月28日	一〇	816	438	435
昭和3年9月29日	一〇	817	439	436
昭和3年9月30日	一〇	818	440	437
昭和3年10月1日	一〇	819	441	438
昭和3年10月2日	一〇	820	442	439
昭和3年10月3日	一〇	821	443	440
昭和3年10月4日	一〇	822	444	441
昭和3年10月5日	一〇	823	445	442
昭和3年10月6日	一〇	824	446	443
昭和3年10月7日	一〇	825	447	444
昭和3年10月8日	一〇	826	448	445
昭和3年10月9日	一〇	827	449	446
昭和3年10月10日	一〇	828	450	447
昭和3年10月11日	一〇	829	451	448
昭和3年10月12日	一〇	830	452	449
昭和3年10月13日	一〇	831	453	450
昭和3年10月14日	一〇	832	454	451
昭和3年10月15日	一〇	833	455	452
昭和3年10月16日	一〇	834	456	453
昭和3年10月17日	一〇	835	457	454
昭和3年10月18日	一〇	836	458	455
昭和3年10月19日	一〇	837	459	456
昭和3年10月20日	一〇	838	460	457
昭和3年10月21日	一〇	839	461	458
昭和3年10月22日	一〇	840	462	459
昭和3年10月23日	一〇	841	463	460
昭和3年10月24日	一〇	842	464	461
昭和3年10月25日	一〇	843	465	462
昭和3年10月26日	一〇	844	466	463
昭和3年10月27日	一〇	845	467	464
昭和3年10月28日	一〇	846	468	465
昭和3年10月29日	一〇	847	469	466
昭和3年10月30日	一〇	848	470	467
昭和3年10月31日	一〇	849	471	468
昭和4年1月1日	一一	850	472	469
昭和4年1月2日	一一	851	473	470
昭和4年1月3日	一一	852	474	471
昭和4年1月4日	一一	853	475	472
昭和4年1月5日	一一	854	476	473
昭和4年1月6日	一一	855	477	474
昭和4年1月7日	一一	856	478	475
昭和4年1月8日	一一	857	479	476
昭和4年1月9日	一一	858	480	477
昭和4年1月10日	一一	859	481	478
昭和4年1月11日	一一	860	482	479
昭和4年1月12日	一一	861	483	480
昭和4年1月13日	一一	862	484	481
昭和4年1月14日	一一	863	485	482
昭和4年1月15日	一一	864	486	483
昭和4年1月16日	一一	865	487	484
昭和4年1月17日	一一	866	488	485
昭和4年1月18日	一一	867	489	486
昭和4年1月19日	一一	868	490	487
昭和4年1月20日	一一	869	491	488
昭和4年1月21日	一一	870	492	489
昭和4年1月22日	一一	871	493	490
昭和4年1月23日	一一	872	494	491
昭和4年1月24日	一一	873	495	492
昭和4年1月25日	一一	874	496	493
昭和4年1月26日	一一	875	497	494
昭和4年1月27日	一一	876	498	495
昭和4年1月28日	一一	877	499	496
昭和4年1月29日	一一	878	500	497
昭和4年1月30日	一一	879	501	498
昭和4年1月31日	一一	880	502	499
昭和4年2月1日	一一	881	503	500
昭和4年2月2日	一一	882	504	501
昭和4年2月3日	一一	883	505	502
昭和4年2月4日	一一	884	506	503
昭和4年2月5日	一一	885	507	504
昭和4年2月6日	一一	886	508	505
昭和4年2月7日	一一	887	509	506
昭和4年2月8日	一一	888	510	507
昭和4年2月9日	一一	889	511	508
昭和4年2月10日	一一	890	512	509
昭和4年2月11日	一一	891	513	510
昭和4年2月12日	一一	892	514	511
昭和4年2月13日	一一	893	515	512
昭和4年2月14日	一一	894	516	513
昭和4年2月15日	一一	895	517	514
昭和4年2月16日	一一	896	518	515
昭和4年2月17日	一一	897	519	516
昭和4年2月18日	一一	898	520	517
昭和4年2月19日	一一	899	521	518
昭和4年2月20日	一一	900	522	519
昭和4年2月21日	一一	901	523	520
昭和4年2月22日	一一	902	524	521
昭和4年2月23日	一一	903	525	522
昭和4年2月24日	一一	904	526	523
昭和4年2月25日	一一	905	527	524
昭和4年2月26日	一一	906	528	525
昭和4年2月27日	一一	907	529	526
昭和4年2月28日	一一	908	530	527
昭和4年2月29日	一一	909	531	528
昭和4年3月1日	一一	910	532	529
昭和4年3月2日	一一	911	533	530
昭和4年3月3日	一一	912	534	531
昭和4年3月4日	一一	913	535	532
昭和4年3月5日	一一	914	536	533
昭和4年3月6日	一一	915	537	534
昭和4年3月7日	一一	916	538	535
昭和4年3月8日	一一	917	539	536
昭和4年3月9日	一一	918	540	537
昭和4年3月10日	一一	919	541	538
昭和4年3月11日	一一	920	542	539
昭和4年3月12日	一一	921	543	540
昭和4年3月13日	一一	922	544	541
昭和4年3月14日	一一	923	545	542
昭和4年3月15日	一一	924	546	543
昭和4年3月16日	一一	925	547	544
昭和4年3月17日	一一	926	548	545
昭和4年3月18日	一一	927	549	546
昭和4年3月19日	一一	928	550	547
昭和4年3月20日	一一	929	551	548
昭和4年3月21日	一一	930	552	549
昭和4年3月22日	一一	931	553	550
昭和4年3月23日	一一	932	554	551
昭和4年3月24日	一一	933	555	552
昭和4年3月25日	一一	934	556	553
昭和4年3月26日	一一	935	557	554
昭和4年3月27日	一一	936	558	555
昭和4年3月28日	一一	937	559	556
昭和4年3月29日	一一	938	560	557
昭和4年3月30日	一一	939	561	558
昭和4年3月31日	一一	940	562	559
昭和4年4月1日	一一	941	563	560
昭和4年4月2日	一一	942	564	561
昭和4年4月3日	一一	943	565	562
昭和4年4月4日	一一	944	566	563
昭和4年4月5日	一一	945	567	564
昭和4年4月6日	一一	946	568	565
昭和4年4月7日	一一	947	569	566
昭和4年4月8日	一一	948	570	567
昭和4年4月9日	一一	949	571	568
昭和4年4月10日	一一	950	572	569
昭和4年4月11日	一一	951	573	570
昭和4年4月12日	一一	952	574	571
昭和4年4月13日	一一	953	575	572
昭和4年4月14日	一一	954	576	573
昭和4年4月15日	一一	955	577	574
昭和4年4月16日	一一	956	578	575
昭和4年4月17日	一一	957	579	576
昭和4年4月18日	一一	958	580	577
昭和4年4月19日	一一	959	581	578
昭和4年4月20日	一一	960	582	579
昭和4年4月21日	一一	961	583	580
昭和4年4月22日	一一	962	584	581
昭和4年4月23日	一一	963	585	582
昭和4年4月24日	一一	964	586	583
昭和4年4月25日	一一	965	587	584
昭和4年4月26日	一一	966	588	585
昭和4年4月27日	一一	967	589	586
昭和4年4月28日	一一	968	590	587
昭和4年4月29日	一一	969	591	588
昭和4年4月30日	一一	970	592	589
昭和4年5月1日	一一	971	593	590
昭和4年5月2日	一一	972	594	591
昭和4年5月3日	一一	973	595	592
昭和4年5月4日	一一	974	596	593
昭和4年5月5日	一一	975	597	594
昭和4年5月6日	一一	976	598	595
昭和4年5月7日	一一	977	599	596
昭和4年5月8日	一一	978	600	597
昭和4年5月9日	一一	979	601	598
昭和4年5月10日	一一	980	602	599
昭和4年5月11日	一一	981	603	600
昭和4年5月12日	一一	982	604	601
昭和4年5月13日	一一	983	605	602
昭和4年5月14日	一一	984	606	603
昭和4年5月15日	一一	985	607	604
昭和4年5月16日	一一	986	608	605
昭和4年5月17日	一一	987	609	606
昭和4年5月18日	一一	988	610	607
昭和4年5月19日	一一	989	611	608
昭和4年5月20日	一一	990	612	609
昭和4年5月21日	一一	991	613	610
昭和4年5月22日	一一	992	614	611
昭和4年5月23日	一一	993	615	612
昭和4年5月24日	一一	994	616	613
昭和4年5月25日	一一	995	617	614
昭和4年5月26日	一一	996	618	615
昭和4年5月27日	一一	997	619	616
昭和4年5月28日	一一	998	620	617
昭和4年5月29日	一一	999	621	618
昭和4年5月30日	一一	1000	622	619
昭和4年5月31日	一一	1001	623	620
昭和4年6月1日	一一	1002	624	621
昭和4年6月2日	一一	1003	625	622
昭和4年6月3日	一一	1004	626	623
昭和4年6月4日	一一	1005	627	624
昭和4年6月5日	一一	1006	628	625
昭和4年6月6日	一一	1007	629	626
昭和4年6月7日	一一	1008	630	627
昭和4年6月8日	一一	1009	631	628
昭和4年6月9日	一一	1010	632	629
昭和4年6月10日	一一	1011	633	630
昭和4年6月11日	一一	1012	634	631
昭和4年6月12日	一一	1013	635	632
昭和4年6月13日	一一	1014	636	633
昭和4年6月14日	一一	1015	637	634
昭和4年6月15日	一一	1016	638	635
昭和4年6月16日	一一	1017	639	636
昭和4年6月17日	一一	1018	640	637
昭和4年6月18日	一一	1019	641	638
昭和4年6月19日	一一	1020	642	639
昭和4年6月20日	一一	1021	643	640
昭和4年6月21日	一一	1022	644	641
昭和4年6月22日	一一	1023	645	642
昭和4年				

八	六	五	三	一〇	八	八	一	一〇	九	一	一〇	八	九	八
631	514	429	223	779	630	629	21	807	712	20	778	628	711	627
昭和三年 10月12日	昭和三年 10月12日	昭和三年 10月11日	昭和三年 10月10日	昭和三年 10月9日	昭和三年 10月7日	昭和三年 10月(6)日	昭和三年 10月(5)日	昭和三年 10月5日	昭和三年 10月5日	昭和三年 10月4日	昭和三年 10月3日	昭和三年 10月2日	昭和三年 10月2日	二四八
田在 中外務 大臣宛 (電報)	田在 漢口原田 總領事代理 より	田在 上海矢田 總領事宛 (電報)	田在 上海矢田 總領事宛 (電報)	三六〇										
七二四	一四一二	一四〇三	七〇七	七〇二	六九五	六一七	五九	一〇三	田在 夏門坂本 領事より	田在 中外務 大臣宛 (電報)	田在 ニュー ヨーク 斎藤 總領事より	田在 奉天 總領事より	田在 奉天 總領事宛 (電報)	二五三
田在 上海矢田 總領事宛 (電報)	田在 中國芳沢 公使より	田在 中外務 大臣宛 (電報)	田在 上海矢田 總領事宛 (電報)	田在 上海矢田 總領事宛 (電報)	田在 奉天 總領事宛 (電報)	田在 奉天 總領事宛 (電報)	田在 奉天 總領事宛 (電報)	二一七	田在 上海矢田 總領事宛 (電報)	田在 上海矢田 總領事宛 (電報)	田在 上海矢田 總領事宛 (電報)	田在 上海矢田 總領事宛 (電報)	二五七	

昭和三年（一九二八）十月

付
言

内田宛電報（番号）告
グ米国國務長官との会談について内田全權報告
米國國務長官宛對華協調問題に關する陳述書について内田全權報告
九月三十日着在米國沢田臨時代理大使より田中外務大臣宛電報（番号）

対華協調問題に関する陳述書をめぐるケロッツ

差等税率実施問題に対する大臣協調についての会談に關する

訓令に關し内田全権へ内報について

在上
えた日中間新局面の展開に處する我が方針は
田総領事よりひ在奉天林総領事らに
……

王二海氏曰爲頑事。二、
王墨天林爲頑事。二
三

天津方面状況に関する曾公安局長の談話について

反日団体操留の井ノ所有日本貨物について邊還され
同団体の活動振りもやや緩和について

積交渉阻止は困難について

英國は海關制度維持を重視しており英國の関税法上は困難である。

増やすべき旨意見具申

差等脱率実施問題二関 一九五九年四月

イタリア、南京事件解決仮調印について

問題等についての「参考」意見

事

附記 九月十四日付

田尻在交渉する旨の指示の必要ありとの有田亞細亞局長意見具申
未だ治外法権撤廃問題の具体的交渉開始の時に達していない旨の米国側の見解について
関税自主権承認と税率協定の交渉方針に関する英國公使の談話について
問題解決促進のため末との交渉継続が得策であることをよび関税と塩税剰余による債務整理問題はいずれも譲歩しえない旨訓令

776 678 678 517

意見	局子街における吉会鉄道敷設反対運動について	吉林省城学生約三千の吉会鉄道敷設反対示威活動について	長春城内学生等の反日示威行動について	関税増収の債務整理充當につき中國側提案を容れるならば塩税剩余の債権償却に關し我が方要求を容れる旨の宋子文の新提案について	鉄道問題に関する中國側交渉委員任命について	吉林学生連合会の反日宣伝活動について	天津反日会が作成した日貨登記条例の内容について	漢口泰安紡績への圧迫に対し今後の対処方針
676	66	69	69	775	67	69	69	880
676	66	69	69	775	67	69	69	881

八	八	九	九	七	五	一	九	八	九	九	五	八	五	九	八	七	九	九	七	四	九	八	
659	658	736	735	588	456	63	734	657	733	昭和3年12月1日	四一八	在漢口桑島總領事より 田中外務大臣宛(電報)	六九一	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	昭和3年12月1日	八	五	九	九	七	四	九	八
昭和3年12月6日	昭和3年12月5日	昭和3年12月4日	昭和3年12月4日	昭和3年12月3日	昭和3年12月2日	昭和3年12月1日	三四八	在漢口桑島總領事より 田中外務大臣宛(電報)	八九四	在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	六九二	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	昭和3年11月30日	昭和3年11月29日	支五五	在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	昭和3年11月27日	昭和3年11月27日	八七六	昭和3年11月27日	昭和3年11月27日	八七七	
九一	三五	三三六	四二〇	付記一	二	中国条約改正問題に関する米国側の意向打診に対する我が方回答案	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について
別電	在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	天津加藤總領事より 田中外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在漢口桑島總領事より 田中外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)		
税率実施に關する王外交部長照会文(仮訳)	文を手交について	外交部、新税率実施に關する芳沢公使宛照会文	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について	天津反日会の排日貨深刻化の情況について		
昭和3年12月6日	十二月六日付在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	天津加藤總領事より 田中外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在漢口桑島總領事より 田中外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)	在外務大臣宛(電報)		
807	806	805	804	803	802	801	800	799	798	797	796	795	794	793	792	791	790	789	788	787	786	785	

いて
今次の排日運動は周到な組織と統制の下に実行され官憲の取締りは期待できざる情況にて

九 758 昭和3年12月23日	三 231 昭和3年12月21日	九 757 昭和3年12月21日	九 756 昭和3年12月20日	七 592 昭和3年12月20日	九 755 昭和3年12月20日	九 754 昭和3年12月20日	八 675 昭和3年12月20日	七 591 昭和3年12月20日	七 590 昭和3年12月20日	九 589 昭和3年12月20日	七 753 昭和3年12月20日	九 230 昭和3年12月18日	九 752 昭和3年12月17日	
一 四三 在蘇州岩崎領事より 田中外務大臣宛(電報)	二 七三九 在外務大臣領事より 田中外務大臣宛(電報)	三 三九五 在米國出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	四 四五四 在中國堀臨時代理公使より 田中外務大臣領事より 田中外務大臣宛(電報)	五 一二七 在漢口桑島總領事より 田中外務大臣宛(電報)	六 九八一 在福州西沢總領事より 田中外務大臣領事より 田中外務大臣宛(電報)	七 五六九 在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	八 七二九 在奉天林總領事より 田中外務大臣宛(電報)	九 九四二 在漢口桑島總領事より 田中外務大臣宛(電報)	十 九七二 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	十一 一七〇四 在中國堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	十二 一二六 在福州西沢總領事より 田中外務大臣宛(電報)	十三 九六五 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	十四 九〇三 十二月十六日付在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛第九六九号	
一 九 昭和3年12月22日	二 九 昭和3年12月21日	三 九 昭和3年12月21日	四 九 昭和3年12月20日	五 九 昭和3年12月20日	六 九 昭和3年12月20日	七 九 昭和3年12月18日	八 八 昭和3年12月17日	九 九 昭和3年12月17日	十 九 昭和3年12月17日	十一 九 昭和3年12月16日	十二 九 昭和3年12月15日	十三 九 昭和3年12月14日	十四 九 昭和3年12月13日	
十五 七四五 在吉林川越總領事より 田中外務大臣宛第九四九号	十六 七四六 在天津加藤總領事より 田中外務大臣宛(電報)	十七 七四七 在福州西沢總領事より 田中外務大臣宛(電報)	十八 七四八 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	十九 七四九 在漢口桑島總領事より 田中外務大臣宛(電報)	二十 七五〇 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	二十一 七五一 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	二十二 七五二 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	二十三 七五三 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	二十四 七五四 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	二十五 七五五 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	二十六 七五六 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	二十七 七五七 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	二十八 七五八 在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	
二十九 九〇八 反日宣伝週間に一般民衆はほとんど無関心の状況について	三十 九〇九 南北交渉問題に関する劉哲の内訌要領について	三十一 九一〇 反日会の活動に嚴重抗議方要望について	三十二 九一〇 中国との關稅條約交渉経過に関する英國公使の談話について	三十三 九一〇 英中關稅條約調印および英國公使國書奉呈について	三十四 九一〇 堀臨時代理公使宛王外交部長書翰の日付を各國宛同時牒と同一の日付とした旨外交部より要請について	三十五 九一〇 楊主席が鄒行貴銃殺事件犯人の一部逮捕を内告について	三十六 九一〇 中国条約改正問題に関する米国照会に対する各國の回答について	三十七 九一〇 京津および保定方面の不穩計画に関連し共産員逮捕について	三十八 九一〇 漢口の反日宣伝週間は不振に終始したが實際上の排貨運動は手を緩めおらざる状況について	三十九 九一〇 張學良招宴における床次竹二郎の東三省問題等に関する所見について	四十 九一〇 武漢公使安総局長反日宣伝週間に反日標記撤去を指示について	四十一 九一〇 蘇州における護憲反日会主催の反日宣伝大会について	四十二 九一〇 吉林省城中國学生等の日貨排斥について	四十三 九〇八 反日会租界より中國街へ搬出する貨物検査を実施について
四十四 九〇八 各国領事は楊省政府主席に連名にて鄒行貴銃殺事件責任追及の公文手交について	四十五 九〇八 新税率実施ならびに債務整理に関する交換公文および秘密協定案につき宋子文と協議について	四十六 九〇八 債務整理問題に関する交換公文妥協案を宋に提示について	四十七 九〇八 外交通商部長の演説について	四十八 九〇八 外交部長による邦商の被害事件報告	四十九 九〇八 排日貨運動による邦商の被害事件報告	五十 九〇八 吉林省城中國学生等の日貨排斥について	五十一 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	五十二 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	五十三 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	五十四 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	五十五 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	五十六 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	五十七 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	
五十八 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	五十九 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	六十 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	六十一 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	六十二 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	六十三 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	六十四 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	六十五 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	六十六 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	六十七 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	六十八 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	六十九 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	七十 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	七十一 九〇八 吉林省城中國學生等の日貨排斥について	

七	昭和 3 年 12 月(29) 日	一七五八	田中中国堀臨時代理公使より 英中関税条約および付属交換公文成立の経緯	704
三	昭和 3 年 12 月 30 日	二七四	田中外務大臣より 在奉天林總領事宛(電報)	283
三	昭和 3 年 12 月 30 日	二七四	田中外務大臣より 在奉天林總領事宛(電報)	283
三	昭和 3 年 12 月 30 日	七六三	田中外務大臣宛(電報)	283
三	昭和 3 年 12 月 30 日	合五四二	田中外務大臣より 在英国外務大臣より 在米國佐分利臨時代理大使	283
三	昭和 3 年 12 月 30 日	合五四五	田中外務大臣より 在米國佐分利臨時代理大使	283
一	昭和 3 年	七六五	田中外務大臣宛(電報)	283
昭和四年(一九二九)一月			東三省全域に青天白日旗掲揚について	285
			任命について	285
三	昭和 4 年 1 月(1) 日	七六六	国民政府令を以て張学良を東北辺防總司令に任命する	285
三	昭和 4 年 1 月 9 日	公一三	田中奉天林總領事より 田中中國外務大臣宛(電報)	285
			青天白日旗掲揚について	285
			政治組織改変に関する	285
			楊宇霆の談話について	285
			東三省開放および土地所有権問題に関する有	285
			田亞細亞局長南京出発に際しての打合せ事項	285
			51	283
			287	283
			286	283
			287	283
			288	283
			289	283
			290	283
			291	283
			292	283
			293	283
			294	283
			295	283
			296	283
			297	283
			298	283
			299	283
			300	283
			301	283
			302	283
			303	283
			304	283
			305	283
			306	283
			307	283
			308	283
			309	283
			310	283
			311	283
			312	283
			313	283
			314	283
			315	283
			316	283
			317	283
			318	283
			319	283
			320	283
			321	283
			322	283
			323	283
			324	283
			325	283
			326	283
			327	283
			328	283
			329	283
			330	283
			331	283
			332	283
			333	283
			334	283
			335	283
			336	283
			337	283
			338	283
			339	283
			340	283
			341	283
			342	283
			343	283
			344	283
			345	283
			346	283
			347	283
			348	283
			349	283
			350	283
			351	283
			352	283
			353	283
			354	283
			355	283
			356	283
			357	283
			358	283
			359	283
			360	283
			361	283
			362	283
			363	283
			364	283
			365	283
			366	283
			367	283
			368	283
			369	283
			370	283
			371	283
			372	283
			373	283
			374	283
			375	283
			376	283
			377	283
			378	283
			379	283
			380	283
			381	283
			382	283
			383	283
			384	283
			385	283
			386	283
			387	283
			388	283
			389	283
			390	283
			391	283
			392	283
			393	283
			394	283
			395	283
			396	283
			397	283
			398	283
			399	283
			400	283
			401	283
			402	283
			403	283
			404	283
			405	283
			406	283
			407	283
			408	283
			409	283
			410	283
			411	283
			412	283
			413	283
			414	283
			415	283
			416	283
			417	283
			418	283
			419	283
			420	283
			421	283
			422	283
			423	283
			424	283
			425	283
			426	283
			427	283
			428	283
			429	283
			430	283
			431	283
			432	283
			433	283
			434	283
			435	283
			436	283
			437	283
			438	283
			439	283
			440	283
			441	283
			442	283
			443	283
			444	283
			445	283
			446	283
			447	283
			448	283
			449	283
			450	283
			451	283
			452	283
			453	283
			454	283
			455	283
			456	283
			457	283
			458	283
			459	283
			460	283
			461	283
			462	283
			463	283
			464	283
			465	283
			466	283
			467	283
			468	283
			469	283
			470	283
			471	283
			472	283
			473	283
			474	283
			475	283
			476	283
			477	283
			478	283
			479	283
			480	283
			481	283
			482	283
			483	283
			484	283
			485	283
			486	283
			487	283
			488	283
			489	283
			490	283
			491	283
			492	283
			493	283
			494	283
			495	283
			496	283
			497	283
			498	283
			499	283
			500	283
			501	283
			502	283
			503	283
			504	283
			505	283
			506	283
			507	283
			508	283
			509	283
			510	283
			511	283
			512	283
			513	283
			514	283
			515	283
			516	283
			517	283
			518	283
			519	283
			520	283
			521	283
			522	283
			523	283
			524	283
			525	283
			526	283
			527	283
			528	283
			529	283
			530	283
			531	283
			532	283
			533	283
			534	283
			535	283
			536	283
			537	283
			538	283
			539	283
			540	283
			541	283
			542	283
			543	283
			544	283
			545	283
			546	283
			547	283
			548	283
			549	283
			550	283
			551	283
			552	283
			553	283
			554	283
			555	283
			556	283
			557	283
			558	283
			559	283
			560	283

